

## 令和2年度事業報告

令和2年度の我が国経済については、緊急事態宣言下にあった4月～6月期の経済の落ち込みが大きかったことや、最近の感染拡大が経済の先行きに及ぼす影響を踏まえて、実質GDP成長率がマイナス5.2%となることを見込むとしています。

令和2年度の国内新車総販売台数については、登録自動車と軽自動車を合わせて前年度比7.6%減の465万6632台と、下半期の販売需要回復はあったものの、上半期の新型コロナウイルス感染拡大による自粛ムードの影響が響き、2年連続の減少となりました。内訳として登録自動車は8.9%減の289万8884台、軽自動車は5.3%減の175万7748台となりました。

さて、令和2年度における当協会の事業実施状況ですが、まず、印紙売りさばき事業については、自動車検査登録印紙の売りさばき額が6168万円(前年度比5.1%減)、自動車審査証紙の売りさばき額が4899万2800円(前年度比8.1%増)、自動車重量税印紙の売りさばき額が22億9707万8600円(前年度比0.6%増)となりました。

次に、自動車に関する行政庁等の示達事項の周知徹底とその円滑な実施に協力することとして、不正改造車の排除、自動車点検整備推進運動、全国交通安全運動、年末年始の輸送等に関する安全総点検等に係る啓発として、当協会ホームページへの掲載、垂れ幕・ポスターの掲出及びリーフレット等を配置しました。

また、当協会が会員皆様の利便を確保するため主催している整備管理者研修については、8月と1月に開催した選任前研修に97名の方が、2月に開催した選任後研修には70名の方に受講いただきました。

さらに、今年度は整備事業者を対象とした特定整備事業の整備主任者等資格取得講習の諮問会場として、2月に3日間(受講者延べ58名)大会議室を貸与しました。

今後とも三多摩地域での研修を継続実施していくことに加え、より多くの方に受講いただけるよう適切な実施時期等の調整を図って参りますので、関係事業者各位の積極的なご支援をお願いいたします。

事業収入につきましては、上半期の新型コロナウイルス感染拡大による自粛ムードの影響を受け新車販売台数が減少したことに伴い、令和2年度予算案に対し、検査登録事務代行手数料収入、検査予約手数料収入、検査登録印紙売捌手数料収入及び事務受託手数料収入が減収となりました。

会館施設の維持管理につきましては、会館内の照明をLED化するなど整備を図る予定でしたが、事業活動収入に不安があったことから、予算の執行を留保しました。

令和2年度事業につきましては、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けたものの、第8回定時総会において決議されました事業計画に基づき、堅実な活動を執行することができました。

会員各位のご理解とご協力を賜りましたことを厚くお礼申し上げます。

**【令和2年度収支】**

令和2年4月1日～令和3年3月31日 (単位：千円)

収入の部		支出の部	
会費収入	2,160	事業費	59,020
事業収入	91,489		
内訳		管理費	49,303
印紙売り捌き	13,902		
手数料	74,511		
事務受託	3,076		
雑収入	13,969		
合計	107,618	合計	108,323